



蚊が媒介する感染症

Vol.98

2024年7月9日

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症で主に熱帯・亜熱帯地域で流行します。日本では日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症としてみられています。デング熱に関しては2014年以降に国内感染例が報告されています。

コロナ終息以降海外に出かける方も増え、日本も年々暑くなる傾向にあることから日本人も知っておくべきと考えられる感染症について勉強しましょう。

主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあり、今回は日本脳炎・デング熱・マラリアについて説明します。

日本脳炎：日本脳炎ウイルスにより発生する疾病。突然の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、意識障害や麻痺等の神経系の障害を引き起こす病気で後遺症を残すことや死に至ることもあります。感染した場合、1000人に1人が日本脳炎を発症し、発症した方の20～40%が亡くなってしまっているといわれています。また、生存者の45～70%に精神・神経障害などの後遺症が残ってしまうといわれています。ワクチン接種により、日本脳炎の罹患リスクを75～95%減らすことができます。

デング熱：デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症です。発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気・嘔吐などの症状が見られます。通常、発症後2～7日で解熱し、発疹は解熱時期に出現します。まれに重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがあり、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。

マラリア：マラリアは原虫（熱帯熱マラリア原虫・三日熱マラリア原虫など4種類が知られています）の感染で起こる病気です。マラリア原虫は蚊の唾液から人の体内に入り、まず肝細胞に入りその後血中に放出され赤血球に侵入します。潜伏期は原虫の種類によりますが14-30日程度。悪寒、震えと共に熱発作で発症し24-72時間のサイクルで繰り返します。発熱に伴い倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛などがみられ、腹部症状（悪心、嘔吐、下痢、腹痛）や呼吸器症状が目立つこともあります。重症化すると種々の合併症を生じ死に至ることもあります。治療には抗マラリア薬が使用されます。



一言コラム 带状疱疹ワクチン今後定期接種化の見込み

厚生労働省の専門家会議で带状疱疹ワクチンの接種費用を公費で補助する定期接種に含める方針が了承されました。今後、接種の対象年齢などについて専門家会議で議論したうえで、正式に決定することになっています。

詳細はまだ何も決められていませんが、近い将来に带状疱疹ワクチンは定期接種化される見込みとなりました。

带状疱疹は体内に潜伏していた「水ぼうそう」と同じウイルスが加齢や疲労などによる免疫力の低下で活性化され、痛みを伴う水ぶくれが带状に現れる皮膚疾患で、50歳以上に多く長引く神経痛などの合併症を引き起こすおそれがあります。ワクチンの普及により带状疱疹の患者さんが減ることが期待されます。

ニュース 手足口病と新型コロナが増加

6月下旬の時点で手足口病が急速に増加しており大阪でも警報レベルとなっています。手足口病は口腔粘膜および手足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症（原因はコクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど）で4歳位までの幼児が中心ですが成人でも発症し主に夏季に流行します。咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染する場合（飛まつ感染）と、やぶれた水疱や便に排泄されたウイルスが、手を介して口や眼の粘膜から感染する場合（経口・接触感染）があります。手足口病に対しては特別な治療はなく、発熱や口の痛みを抑えるために解熱鎮痛剤が使われることがあります。

コロナ終息以降多くの感染症が流行するようになっており、日常生活での感染症対策がより重要になっています。またニュースにはあまりありませんが、新型コロナウイルスも約2ヵ月ほど増加が続いており手足口病よりも多くなっており注意が必要です。



糖尿病ってどんな病気?その82 ノボ、世界初の週1回投与のインスリン製剤「アウイクリ」日本で承認取得

その79でも紹介したインスリン”イコデグ”が日本で商品名”アウイクリ フレックスタッチ”として製造販売承認されました。現在はまだ薬価未収載で実際に販売されるのはもう少し先になりますが近いうちに使用できるようになる見込みになりました。

インスリン”イコデグ”は1日を通して分泌される「基礎インスリン」として使用する製剤です。適応は”インスリン療法が適応となる糖尿病”となっていますので1型2型などインスリンのタイプには関わらず使用できそうです。このインスリンの特徴は可逆的にアルブミン（血中蛋白）と結合し、緩徐にアルブミンから解離しインスリン受容体と結合し作用することで血糖降下作用が1週間にわたり持続することです。

これまで1日1回必要だった自己注射が週1回まで減らすことができることは、安定した治療の継続や糖尿病のコントロールの改善に寄与することが期待されます。

ノボノルディスク社ホームページから



お知らせ 2024年お盆休み

2024年8月13日（火）14日（水）はお盆休みとさせていただきます。

祝日と休診日がありますので、診療は8月10日（土）まで、16日（金）から、になります。ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市八坂町6-23 電話：072-821-0446
ホームページ：<https://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日 祝
9時-12時00分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時00分	○	○	○	-	○	-	-



※受付時間 午前 08:30 ~ 12:00 午後 16:30 ~ 19:00
午前は8時30分、午後は16時30分に解錠し受付を開始します。